

オリジナルWEB調査「おやゆびアンケート」レポート

持続可能な社会のために、消費者の関心は今



近年、世界的に関心が高まる「持続可能な社会」のためにやるべきこと。「SDGs17の目標」といったまだ浸透途中のものや、毎日の身近な課題「食品ロス」について、生活者の声を拾いました。

消費者はSDGs17の目標にどれだけの関心を寄せるのか。

特に関心が高いテーマは「健康と福祉」「貧困」「安全な水とトイレ」「飢餓」

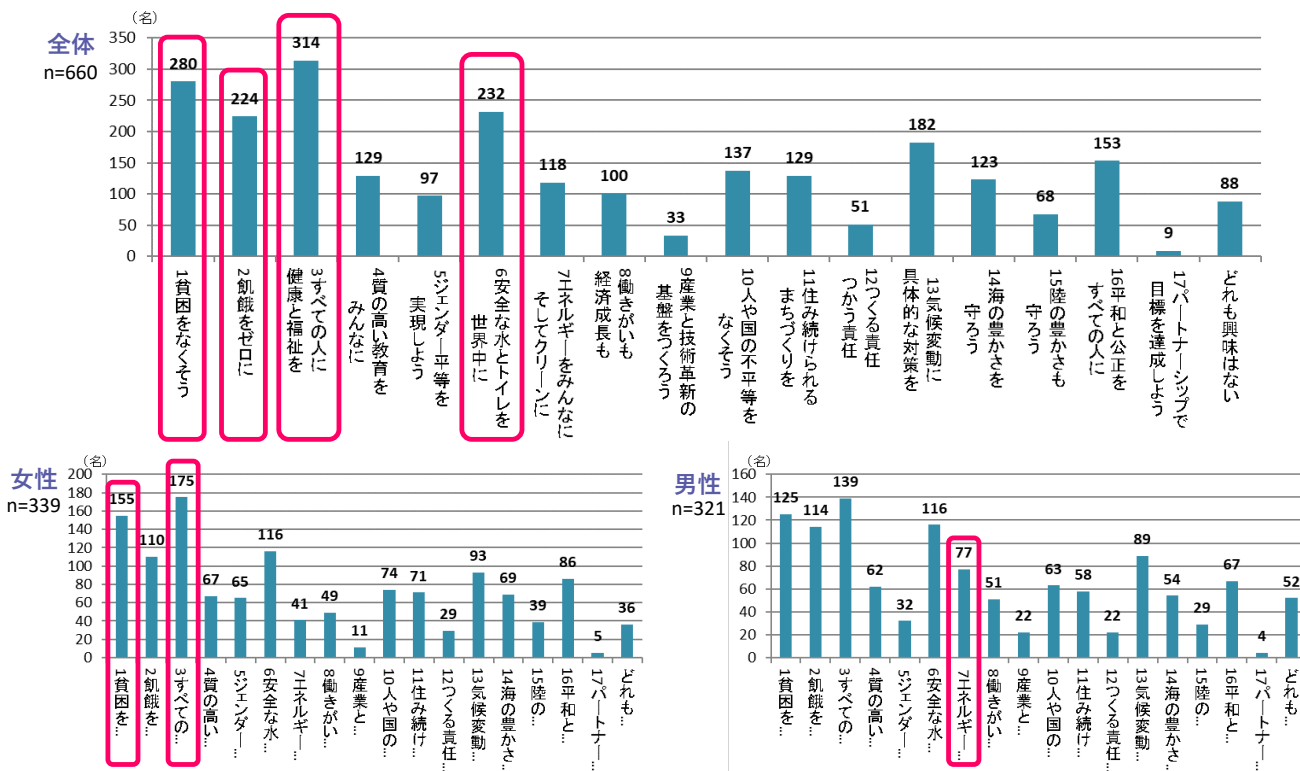
第一紙行では、全国の様々な年代660名に「持続可能な社会」に関するウェブアンケートを行った。SDGs17の目標のうち3割以上の票を獲得したのは「**すべての人に健康と**

福祉を（314名・約48%）」「**貧困をなくそう**（280名・約42%）」「**安全な水とトイレを世界中に**（232名・約35%）」「**飢餓をゼロに**（224名・約34%）」の4つ。

健康や弱者支援に関心が集まる。特に「健康・福祉」「貧困」は男女差があり女性の関心が少し高い。逆に男性の関心が高いのは「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」。

Q. SDGsとは2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」のことで、2030年までに【様々な社会的な課題を解決しようとする取り組み】です。

SDGsには大きく17個の解決目標があります。特に興味のあるものを最大5つまでお選びください。



「環境問題をはじめとする『持続可能な社会』への意識についてのアンケート」 期間：2020年10月17日～10月25日、回答者数：660名

ご案内
その1

菓子・食品メーカー様向けホワイトペーパー「旬ギフトでファンを育むカタログソリューション」をご用意しております。当社WEBサイトからダウンロードしていただくか、営業スタッフまでお問い合わせくださいませ。

持続可能な社会のために、消費者の関心は今

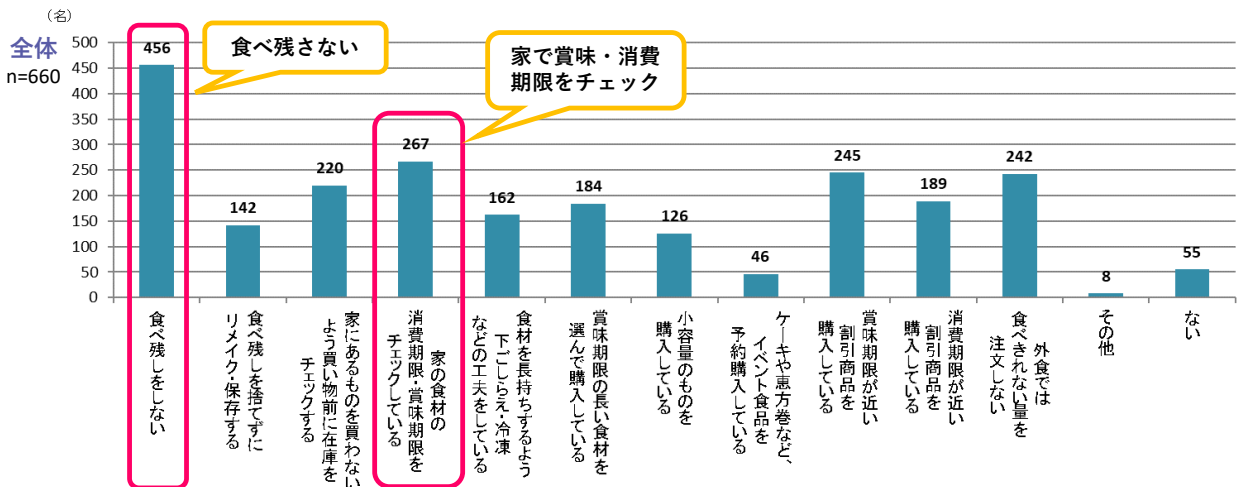
食品ロスに対する消費者の関心や行動に、 メーカー・小売店・飲食店は対応できているか？

消費者が普段行っている食品ロスに対する行動は「**食べ残しをしない**（456名・約69%）」が最多。「**家の食材の消費期限・賞味期限をチェック**」（267名・約41%）」も高いことから、鮮度を保つパッケージや期限の

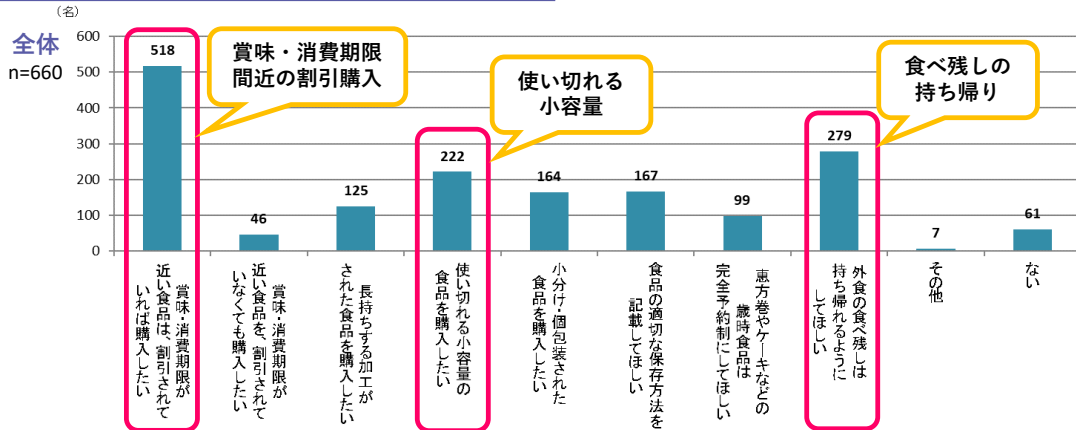
わかりやすさの工夫はマストといえる。また、意識の問題では「**賞味・消費期限が近い食品は割引されていれば購入したい**（518名・約79%）」が断トツ。「**外食の食べ残しは持ち帰れるようにしてほしい**（279名・約42%）」や

「**使い切れる小容量の食品を購入したい**（222名・約34%）」も少なくない。消費者からは、メーカー・小売店・飲食店それぞれにロスを生まない取り組みが求められている。

Q:日本で年間約612万トンの食べられる食品が廃棄されている「食品ロス（食品廃棄）問題」について、ご自身が普段行っている行動をお選びください。



Q:日本で年間約612万トンの食べられる食品が廃棄されている「食品ロス（食品廃棄）問題」について、ご自身の考えにあてはまるものをお選びください。



「環境問題をはじめとする『持続可能な社会』への意識についてのアンケート」 期間：2020年10月17日～10月25日、回答者数：660名